

青年海外協力隊

とちぎ応援団ニュース

第13号 発行平成28年3月31日

青年海外協力隊とちぎ応援団



平成27年1次隊 協力隊6名 シニア1名
県庁にて福田富一知事と



平成27年2次隊 協力隊4名 シニア3名
県庁にて福田富一知事と



平成27年3次隊 協力隊5名
馬場竹次郎副知事に表敬訪問



平成27年4次隊 協力隊1名
県庁にて馬場竹次郎副知事と

平成27年度に派遣された新隊員20名の活動内容と抱負

<27年度1次隊のみなさん 7名>

熊田 祥江さん(タンザニア/体育) 大田原市

【活動内容】モロゴロ市内の中等学校で専任の体育教員として、体育授業の定着を支援。

【抱負】体育教育の重要性を示し、現地に定着できるよう、現地の方と共に活動していきたいです。

2年という期間の中で、いいきっかけ作りになればと思います。

橋村 清佳さん（ネパール/コミュニティ開発） 栃木市

【活動内容】 シャンジャ郡女性子ども教育省にて、女性グループの支援活動。

【抱負】 何かを教えに行くというよりも、沢山のことを学んで帰ってきたいと思います。

日本とネパールの架け橋になれるよう、頑張ります！

大島 一二美さん（カンボジア/教育行政・学校運営） 栃木市

【活動内容】 プノンペン市内の小中学校に関する各種調査の支援、市内教育施設への各種支援団体からの支援情報の収集など。

【抱負】 内戦の影響が色濃く残るカンボジアで教育環境の改善に少しでも貢献できるように頑張ります。

菓子田 惇輝さん（ガーナ/理科教育） 小山市

【活動内容】 任地の高等学校に教員として配属。科学と物理の授業を、実験を取り入れながら実施。

【抱負】 実験は理科の授業を面白くする上でとても重要なので積極的に取り入れていきたいです。

しかし、それだけではなく、実験を通して問題を解決していくような授業を根付かせたいです。

小林 千紘さん（ニカラグア/助産師） 足利市

【活動内容】 保健事務所に所属し、現地の10～20代の若者と若年妊娠予防の啓発活動を実施。

【抱負】 現地のコミュニティの方たちの声に耳を傾け、おもしろい啓発活動を行いたいです。

ニカラグアの若者たちのパワーに負けないよう頑張ってきます。

菊田 詩織さん（ニカラグア/学校保健） 栃木市

【活動内容】 教育事務所に所属。保健指導に必要な計画や教材作成、現地の学校での授業、講演活動。

【抱負】 現地の人々と共に生活を送り、現地の方々生活に合った指導を行っていきたい。

そして、先生方と一緒に計画などを考えて、思いや願いを引き出せるようにしていきたい。

子どもたちと一緒に活動していきたい。

岡田 隆二さん（ブータン/コンピューター技術） 宇都宮市 シニア海外ボランティア

【活動内容】 国が作成管理する地図情報のシステム対応

【抱負】 ふつうに仕事をやる。

<27年度2次隊のみなさん 7名>

仲尾 望さん（ペルー/コミュニティ開発） 小山市

【活動内容】 ペルー北部山岳地域の村にある役所に所属。現地小学校を巡回、学校菜園と栄養改善指導の支援。

【抱負】 現地の方と同じ言葉を話し同じものを食べ、相手の立場に寄り添いながら“豊かさ”を築いていきたいです。

異なりの中からも共感できるポイントを見つけ、いち早くコミュニティに溶け込めるよう頑張ります。

小林 愛鐘さん（ガーナ/コミュニティ開発） 下野市

【活動内容】 ガーナ南西部のビジネスアドバイザーセンターでの、一村一品運動（特産品で地域を盛り上げる活動）の立ち上げ。

【抱負】 学生時代にフィリピンのスラムで活動したり、ヨルダンの難民の方々に聞き取り調査をしていたことが参加のきっかけになりました。村人が村で現金収入を得て生活できるようになったら、スラム問題や紛争問題の解決にもつながると思うので精一杯頑張ります！

平石 康仁さん（サモア/自動車整備） 塩谷町

【活動内容】サモア首都の職業訓練所にて自動車整備指導。

【抱負】無事帰国。

土屋 麻美さん（カンボジア/青少年活動） 栃木市

【活動内容】中高生で構成されているマーチングバンドの指導、及び教員養成校での音楽指導。

【抱負】子どもたちの日常生活の中に音楽の楽しみを与え、また音楽を通じた人間的成長を伸ばせるような活動を一生懸命努めて参ります。

大兼 敦子さん（コスタリカ/日本語教育） 宇都宮市 シニア海外ボランティア

【活動内容】国立コスタリカ大学での日本語・日本文化指導。地域の日本文化に関するイベントの開催支援。

【抱負】コスタリカでも日本ブーム！アニメだけではない日本文化、日本の心を伝えてきます！！

山下 豊さん（コスタリカ/下水道） 宇都宮市 シニア海外ボランティア

【活動内容】国立職業訓練センターでの水処理技術の紹介、学生への教育等。

【抱負】学生に対して、水処理技術を分かりやすく教えていくとともに、国際協力や、少しでも多くの人々と仲良くしていきたい。

相澤 いと子さん（ブータン/ソーシャルワーカー） さくら市 シニア海外ボランティア

【活動内容】薬物依存更生機関・薬物需要削減部所属。学校・病院・警察・コミュニティと協力しての薬物依存者撲滅活動。

【抱負】薬物に関する知見が浅いですが、日本で生活してきた非行少年から教えてもらったことを生かし、依存者とその家族の抱える問題を探り、解決するための課題を現地の方々と見つけていきたいです。

<27年度3次隊のみなさん 5名>

加持 智子さん（マーシャル諸島/小学校教諭） 足利市

【活動内容】小学校で現地の先生方と共に算数の指導。

【抱負】子どもたちも先生方も楽しめるような授業を現地の先生方と一緒に考えていきたいと思います。

マーシャル諸島の子どもたちが学ぶことを好きになるような活動をしたいです。

三浦 真希さん（ルワンダ/障害児・者支援） 那須塩原市

【活動内容】聾学校での音楽・美術・スポーツ等の情操教育指導、観光客向けのおみやげ制作指導、

コミュニティをまきこんだイベント企画。

【抱負】1994年のジェノサイドを経験した子ども達が今、大人になってアフリカ安全な国と呼ばれるルワンダをつくりあげている。その国から学ぶことはたくさんあると思う。聾学校の子も達や先生方、コミュニティの方々と学び合い支え合いながら活動したい。

小幡 知世さん（ネパール/コミュニティ開発） 真岡市 真岡市役所より現職参加

【活動内容】地方行政強化のために、首都からバスで約3時間離れた地方で現地の人とフィールドワークを行うなど、立場の弱い人の声を行政に反映させる活動。

【抱負】約4年前、留学していたネパールに再び戻る機会を得た。その時お世話になったネパールに恩返しができるよう、また震災復興の手助けができるような活動をしたい。

石塚 貴章さん（ラオス/コミュニティ開発） 野木町 野木町役場より現職参加

【活動内容】ラオス中部に位置するカムアン県の産業商業局で、特産品である素焼き陶器や竹細工等をもとに産業振興の活性化を支援。

【抱負】村落地域住民の生活向上を目標とするとともに、10、20年後も「石塚」という日本人が以前ラオスのために奮闘していたと覚えてもらえるような住民の心に残る活動を行います。

半田 颯太郎さん（パプアニューギニア/小学校教諭） 宇都宮市

【活動内容】現地の小学校で、算数・理科・体育などの教科の質向上を目指し、現地の先生と協力、活動。

【抱負】現地の子どもたちに学校は楽しいところであるという認識を持たせたい。また、2年の活動が終わっても影響を与え続けられるような活動を行っていききたい。

<27年度4次隊 1名>

藤掛 知英美さん（ベナン/野菜栽培） 大田原市

【活動内容】農業普及員の同僚と一緒に農民の生産量増加、現金創出のための活動を企画・実施。

【抱負】まずは健康・安全第一を目標に、現地の人々と共に活動し良い関係を築いた上で、継続性のある活動の足跡を残していきたいです。元気に帰ってきます！

<27年度の帰国隊員> 13名 帰国表敬者 なし

壮行会の様子



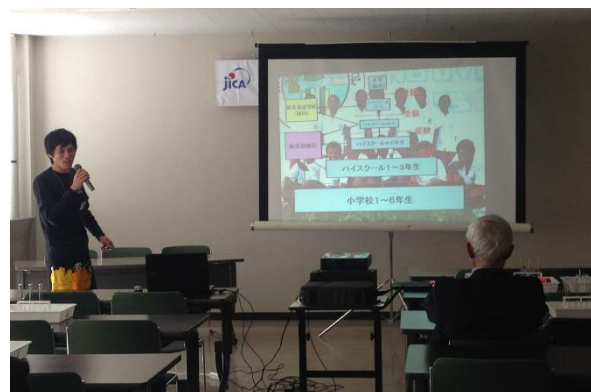
27年度1次隊

帰国報告は古河大輔氏（19年度ポリビア/村落開発）。
現 NPO とちぎユースサポーターズネットワーク理事



27年度2次隊

7名の新ボランティアへ激励の言葉を送られた
青木盛久元大使



小さなハートプロジェクトへの協力

平成 26 年 1 次隊のコミュニティ開発隊員でケニアに派遣された三関理沙隊員（本県出身）が「小さなハートプロジェクト」を活用した活動計画を申請しました。これを受け、とちぎ応援団としても資金協力を行いました。計画は下記の通りです。現在も協力隊を育てる会の HP 上で本プロジェクトの寄付を受け付けております。

オザヤ市における児童保護施設のドミトリー拡充と緊急対策

ケニア、ニエリ郡オザヤ市には育児放棄、家庭内暴力などにより保護とケアが必要な子どもたちがたくさんいます。家族と過ごすことができない子どもたちは児童保護施設で生活しています。こうした施設は地元の有志者からのわずかな資金で運営しており、老朽化した設備の改修資金がなく、子どもたちの生活環境は悪化し始めています。ガタガタのベッドとおもらしで汚れたマットレス。また緊急事態のための装備が不足している状態です。このプロジェクトによって、子どもたちが安心して眠れる丈夫な二段ベッドや清潔なマットレス、安全のための消火器と救急箱を購入します。



平成 27 年 11 月 17 日

青年海外協力隊発足 50 周年記念式典



JICA は 11 月 17 日、青年海外協力隊事業が 50 周年を迎えたことを記念して、パシフィコ横浜で記念式典を開催しました。この式典には、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア経験者や支援者など約 4500 名が出席しました。とちぎ応援団からも小菅充副会長をはじめ、多くの会員が参加しました。



平成 28 年 2 月 27 日 留守家族連絡会

2 月 27 日、留守家族連絡会がとちぎ国際交流センターで開催されました。留守家族の 18 家族 28 名が連絡会に出席し、留守家族同士で情報共有と意見交換を行いました。またスカイプでルワンダとカンボジアの隊員計 2 名との通信を行いました。



挨拶をする猪瀬博事務局長（左）



スカイプ通信の様子

JICA ボランティア栃木県出身隊員の派遣国一覧



※SV はシニアボランティア

※カッコ内は 2人以上派遣の人数

あなたもとちぎ応援団員になりませんか？

青年海外協力隊とちぎ応援団は平成 15 年 10 月 10 日、本県出身または在住の青年海外協力隊及び帰国隊員への支援と本県内における協力隊事業への支援、協力、広報活動を行う組織として発足しました。東京の（一社）協力隊を育てる会のほか、全国に同種組織があります。

とちぎ応援団は会費収入で運営しています。

I 会員は①個人年会費 一口 3,000 円、②団体、法人会員年会費 一口 1 万円の 2 種類。

II 会員には、協力隊の月刊情報誌「クロスロード」をお届けします。

郵便振替口座 口座番号 0015-90628874/口座名義 青年海外協力隊とちぎ応援団

青年海外協力隊とちぎ応援団事務局

〒321-0971 宇都宮市海道町 788-3 猪瀬方

電話番号 (028) 663-3996